

「市長記者会見」の概要

■日時 令和4年10月31日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、読売新聞、長野市民新聞

■内容（プレスリリース）

- 1 障害児通所給付費に係る利用者負担上限月額の設定誤りについて
- 2 メンタルチェックシステム「こころの体温計」の導入について
- 3 育児参加促進事業「あそぼう！パパとリトミック」
- 4 屋代保育園基本設計（案）の意見募集について
- 5 がんばろう千曲！最大20%戻ってくるキャンペーンの開催について
- 6 【中小規模の店舗対象】お得なデジタルクーポンの発行を支援します！
- 7 大型アスレチック遊具設置完了について
- 8 千曲市公園施設ネーミングライツ・パートナー及び愛称の再募集について
- 9 千曲市科野の里ふれあい公園ネーミングライツ協定調印式の開催について

■市政全般について

【質疑応答】

問 来月で市長就任から2年、折り返しとなるが、これまでの成果と課題、残り2年間に向けての抱負は。

回答 就任当初は既にコロナ禍であり、令和元年東日本台風の復興計画を作っている最中であつたため、平穏無事な就任ではなかったが、まずその対応については非常に力を注いだ。

選挙公約の実現については、上山田戸倉の市民窓口出張所の開設と機能拡大。市民の声を聞く機会を拡充し、「ようこそ市長室」や「お出かけシェアトーク」の開催と市民の皆さんが気軽に意見を伝えられる（市政へのご意見・ご提案）意見箱を設置した。また、ポリネコ！CHIKUMAという新しい広聴の仕組みも今進めている。

また、ごみチケットの廃止や来年度からになるが子どもの福祉医療費給付金の対象年齢を18歳まで拡大することとした。

屋代地区開発の大型商業施設を中心とした開発の見直しを行い、現在は、地権者から提案された「まちづくり構想」を市としてどのように関与していくかを検討している。（仮称）屋代スマートインターチェンジも国の準備段階調査に移行することができた。

防災拠点の整備については、一朝一夕にできるものではないが、スピード感を持って取り組んでいきたい。

まだ道半ばではあるが、残り 2 年間では、さらに事業等を加速させ、総合計画で（市の将来像として）掲げる「人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 ～文化伝承創造都市・千曲～」の実現に向け、しっかりと頑張っていきたい。

問 令和元年東日本台風災害から 3 年となったが、復興の度合いと防災対策は。

回答 復興計画に掲げた事業は順調に進んでいる。信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについても国と連携・協力し着実に進めている。

問 復興計画の中で特に力を入れたことは。

回答 小中学校における実践的な避難所開設訓練の実施と福祉避難所の位置付けの明確化、マイトimelineの理解促進に努めている。

終了 午後 2 時 25 分